カレッジ通信

発行
東京建築カレッジ

第22期生
募集中！
入学願書など請求は、ご連絡ください。
TEL 03-5950-1771

誰でもスケッチがうまくなる！ 工夫がいっぱい。面白い授業

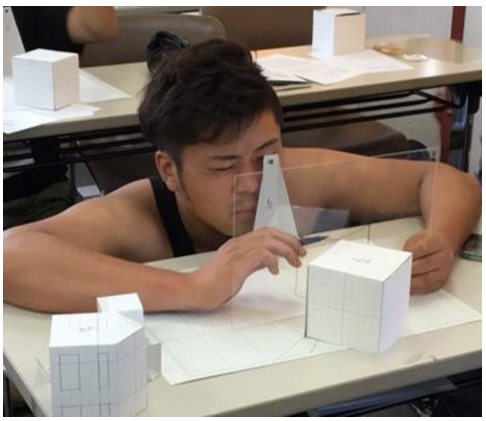
街で見つけた素敵な建物。手早くスケッチできたら建築のプロという感じです。建築カレッジでは現実の情景を絵で人に伝える技術も学びます。理論を学び練習を重ねれば、誰でもスケッチがうまくなります。

8月19日、第21期生（1年生）の新しい授業が始まりました。「基礎製図Ⅱ（建築スケッチ）」で、担当は建築家の山本厚生講師（新建築家技術者集団　幹事会議長）です。自己紹介では先生が考案した「ひと裁ち折り」も紹介されました。ひと裁ち折りは「図学」に基づいた紙遊びで、法則的な折り紙の後、ハサミでひと裁ちすると、ハートや数字、文字が出来上がるというものです。数学の教育研究者から注目されています。

◇　◇　◇

山本講師は、最初に「遠くのものが小さく見えるのはなぜか。小学生にも分かる説明法を考えて」と問いかけます。そして、視座を固定し透明のアクリル板を通して各自が家の模型を見つめ、そのアクリル板に模型の絵を描く演習に取り組ませます。「焦点」を実感しながら、平面に立体感のある絵を描く練習です。

このほかのスケッチ技法も学んだ後に、9月25日には、川崎市立日本民家園に野外で建物スケッチの授業に出掛けます。



視座を固定し、透明なアクリル板に見たままの形を描く練習（1年生・甲斐充さん）

スケッチの極意を何通りも教える山本厚生先生

氏平達也さん（第11期生）4度目の銀

全建総連　第32回全国青年技能競技大会

8月27～29日、徳島県で開催された「全建総連 第32回 全国青年技能競技大会」（36県連組合73人参加、競技課題は「四方転び踏み台」）で、建築カレッジ第11期生の氏平達也さん（東京土建江戸川支部）は銀賞（2位）、第13期生の柴田輝実さん（東京土建村山大和支部）は銅賞（6位）、同じく第13期生の赤井立矢さん（東京土建江戸川支部）は入賞（12位）でした。金賞は小島優さん（埼玉土建）でした。

また、第13期生の中島裕章さん（千葉土建）も入賞（15位）しました。

氏平さんと赤井さんは第一線で大工として活躍する一方、カレッジの指導員もされています。

1年生の授業から〔実技実習〕

第21期生（1年生）は7月中旬から「木造軸組実習」（全10回）という実技実習に取り組んでいます。手板（板図）を各自が作製、墨付け、加工を班ごとのチームワークでこなし、軸組みの小屋を作り上げるという授業です。8月27日の授業では建て方に到達した班も（上写真）。9月9日（金）午後には見学会も行います。、木造建築の醍醐味を味わいながら一歩一歩成長する研修生の姿をぜひ確かめに来て下さい。この授業はすべて江東実習場で行っています。

2年生の授業から〔実技実習〕

第20期生（2年生）は研修生各人が個別の演習課題に向かう授業に移っています。「朝顔箱」の次は、「風呂イス（二方転び）」です。進み方は習熟度によってかなり違います。周囲の作品と見比べて自分の弱点を自覚しながら練習に励みます。左上の写真は高橋和真さん。1個目の反省をバネに2個目の作製に向かいます。

9月10日からはいよいよ「四方転び踏み台」の授業が全6回の日程で始まります。ご見学を歓迎します。

職業能力開発短期大学校　東京建築カレッジ

2017年度・第22期入学生『募集要項』

【募集学科】高度職業訓練専門課程　居住システム系建築科
【定　　員】 20人（募集人員は30人まで）
【応募資格】建築の仕事に携わりながら建築技術者・技能者を志す意欲ある方で、下記のいずれかに該当する者（実務経験の有無、性別は問いません）
①高校卒業以上、
②18歳以上で、学校長が①と同等と認めた方

【入学資格】入学時以降は、カレッジへの通学を保障する建築関係の事業所に入職していること。
【通 学 日】①金曜日と土曜日の午前8時20分から午後6時30分が通常授業です。②月一回程度、木曜日または日曜日等に登校日があります。③１年次に入学式翌日から９日間の集中授業があります。
【応募書類】応募書類は以下の７点です。
下記の所定用紙一式はご請求ください。
①入学願書
②学校調査書
③調査（事業所用）・推薦書
④健康診断書
⑤応募理由書
⑥返信用封筒　［切手（362円）貼付］
⑦写真　正面上半身、脱帽、縦４cm×横３cmで３カ月以内に撮影２枚（うち１枚は入学願書貼付）

【第1回募集】
学校説明会　８月30日（火）、応募締切　９月８日（木）
試験日　　９月14日（水）、結果発表　９月16日（金）

【第2回募集】
学校説明会　10月16日（日）、応募締切　10月26日（水）
試験日　　10月30日（日）、結果発表　11月2日（水）

【第3回募集】
学校説明会　11月22日（火）応募締切　12月１日（木）
試験日　　12月７日（水）、結果発表　12月９日（金）

【第4回募集】
学校説明会　１月25日（水）、応募締切　２月２日（木）
試験日　　２月８日（水）、結果発表　２月10日（金）

※説明会、試験の会場は池袋校舎です。
※説明会の開催時間　①午後２時から　②午後７時から
※試験日の開催時間　午前10時から午後３時頃まで
※入学試験は書類選考及び面接、作文。働きながら学ぶことへの意欲を第一に、総合的に判断します。

【入学金・授業料等】
①入学金　100,000円（手道具代相当分）
②授業料　月額31,000円（原則６ヶ月分前納制）
※本人、事業主のいずれかが全国建設労働組合総連合（全建総連）加盟の労働組合員の場合。以外は月額39,000円となります。
資本金３億円超・常用労働者数300人超の大企業の場合は別途ご相談ください。
③作業着・安全靴・ヘルメット、製図・デザイン用具、訓練生総合保険などは実費負担となります。（35,000円程度）

【助成金制度について】
東京建築カレッジに研修生を派遣する建設事業主は、雇用保険適用事業所で、研修生が雇用保険被保険者であれば、厚生労働省の「キャリア形成促進助成金（キャリ形）」、「建設労働者確保育成助成金（建労助成金）」（建設業の雇用保険料率、または、建設業許可取得の事業所に限る）による賃金助成を受けることができます。
キャリ形は１時間800円×所定労働時間内の年間受講時間、建労助成金は一日5,000円の賃金助成。日曜を除く約100日の登校日で年間受給額は満額の場合約110万円となります。ただし、審査によっては減額され、最低賃金法違反など労働基準法を違反している場合は不支給となります。

ものづくり匠の技の祭典２０１６

8月10～12日、東京国際フォーラムに３万６千人が来場

東京建築カレッジは軸組み構法による上棟を実演しました。カレッジの指導員と卒業生は、棟上げと上棟式、解体を三日間繰り返しました。

東京都産業労働局などで構成する実行委員会の主催で「ものづくり・匠の技の祭典２０１６」が８月10～12日、東京国際フォーラムで行われ、三日間で３万６千人が来場しました（主催者発表）。

東京建築カレッジは片岡茂樹 教務運営委員・２年生指導員責任者がリーダーとなり、指導員と卒業生が力を合わせ、７月から下準備を重ね、日本の伝統建築技法を継承する木造軸組み構法による棟上げを実演しました。木の柱と梁を組み上げて構造体をつくる木造建築の迫力、人と自然にやさしい木の家づくりの魅力をアピールするイベントとなりました。

多摩の檜を使用

棟上げに使用した材木は、東京の多摩産材の檜（ヒノキ）です。東京の総面積の約４割は森林。多摩地域の森林の約６割は杉、檜の人工林です。身近な資源を生活に生かそうというメッセージを込めました。

このイベントの棟上げスペースの向かいには、「組立茶室 匠創庵」という人気コーナーがありました。開会後に分かったことですが、銘木をたっぷり使用した、こちらの茶室の施工にも東京建築カレッジの卒業生が関わっていました。第４期生のＥさんとＴさんです。当時の教務部長Ｗさんも会場に訪れ、互いに近況を交歓する姿が見られました。

テレビで特集

イベントの様子はＴＯＫＹＯ ＭＸテレビの番組で紹介されることになりました。

［番組名］
東京クラッソ！
テーマ「中小企業」
［放送予定］
９月24日（土）
午前７時30分～８時
９月25日（日）
午後９時30分～10時
（再放送）
［司会］
久保純子・島田秀平

「カレッジを初めて知った」という人も。

土建まつりで宣伝

８月28日（日曜）、東京建築カレッジは、母体である東京土建一般労働組合 江戸川支部の土建まつり（船堀スポーツ公園）に参加しました（左下写真）。同支部所属の組合員で、カレッジ第11期生の氏平達也さんの四方転び踏み台には「これはすごいね」と、立ち止まって見入る人がたくさんいました。入学相談もありました。

同労組江東支部の９月18日の土建まつりにも参加、宣伝する予定です。